

Press Release

2010年3月18日

ジェネシスヘルスケア株式会社

情報セキュリティ管理規格「情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 適合性評価制度」の認証を取得

ジェネシスヘルスケア株式会社(東京都港区、代表取締役 佐藤淳)は、2010年3月17日、情報セキュリティマネジメントシステム(Information Security Management System:ISMS*¹)の適合性評価制度において、国際規格 JIS Q 27001:2006 (ISO/IEC27001:2005)の認証を取得しました。

情報セキュリティへの意識が高まる中、当社は技術面、運用管理面の総合的なセキュリティ対策とともに、組織の情報セキュリティ管理体制の整備や社内組織の体質強化を行い、リスクマネジメントと適切な管理策を実行できる強固な体制を構築しました。また、当社は保護すべき情報資産について機密性・完全性・可用性(CIA)をバランスよく維持・改善し、適切な運用管理に取り組んでいます。

当社は遺伝子検査を基礎としながら、様々な角度から個人のライフスタイルを支援する試みを行っています。情報技術が多様化・複雑化していく中、当社の情報資産の一つである、お客様の個人情報及び個人遺伝情報を適切に保護することは極めて重要であり、社会的責務であると考えています。当社は、今回の認証取得を更なるバネとして、情報セキュリティレベルの向上に尽力するとともに、遺伝子情報を取り入れたテーラーメイド医療の発展、並びに予防医学の普及・啓蒙に一層努めて参ります。

*1 ISMS とは、情報資産を様々な脅威から守り、リスクを軽減させるための総合的な情報セキュリティマネジメントシステムです。

以上

